

豊岡まちづくり 株式会社

決算書類

第 26 期

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

事業報告

第26期

自 令和 2年4月 1日
至 令和 3年3月31日

兵庫県豊岡市大磯町1番79号

豊岡まちづくり株式会社

第26期（令和2年度）事業報告

事業概況

令和2年度の地場産業の経済環境におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中、経済活動が再開され政府の各種政策により持ち直しの動きが見られ始めましたが、景気は依然として極めて厳しく、先行きは非常に不透明な状況が続いております。

このような情勢の中で、当社も積極的に販売活動を展開していましたが、売上高は138,690千円と対前年13,443千円の減少となり、営業利益は、4,591千円で対前年7,608千円の減少となりました。

これを主な部門についてみますと、次のとおりです。

（アトリエショップ部門）

店頭販売では、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言発令時、来客数が激減し売上高は大きく落込みました。途中持ち直しもしましたが、やはり影響が大きかったため売上高は61,858千円と対前年16,496千円の減少となり、営業利益は780千円で対前年6,102千円の減少となりました。

（アトリエネット部門）

特集内容を一新し販促費も増やした事により、サイトの訪問者数も順調に伸びて売上に繋がり、ほぼ年間を通して前年度を上回る45,478千円の売上で対前年12,173千円の増加となり営業利益は、4,445千円で対前年2,977千円の増加となりました。

（スクールⅠ部門）

東京から福岡まで全国から13名の生徒が入校しましたが、1名減員し12名で授業を行い緊急事態宣言中は、生徒数と授業を半分に分け交互に実施する等の工夫も凝らし進めていきました。

売上高は14,800千円で対前年1,078千円の増加となり、営業利益はマイナス225千円で対前年303千円の減少となりました。

（スクールⅡ部門）

令和2年度より財布企業への人材供給等に向け、財布スクールを開校しました。全国から5名の生徒が入校し、卒業後豊岡市や京丹後市で自宅工房経営される方があるなど、成果は十分あったように思われます。但し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により応募者が集まらず、第1クールしか開講することが出来ませんでした。売上高は2,232千円で対前年11,251千円の減少となり、営業利益はマイナス3,128千円で対前年4,501千円の減少となりました。

（学校給食配送事業部門）

豊岡市の委託業務で、平成30年度より令和2年度の3年間契約の最終年度として、1年間学校給食を市内の小学校6校、中学校3校へ遅滞なく安全に届けることが出来ました。

1件物損事故がありました。その他大きな事故もなく、引続き令和3年度より3年間運営していく予定です。売上高は14,322千円で対前年1,054千円の増加となり、営業利益は2,719千円で対前年323千円の増加となりました。

総合業績状況

事業全体で見ますと、今期の純売上高では、アトリエショップ部門は新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅に減少しましたが、アトリエネット部門は好調で、対計画と対前年共に増収となっております。スクールI部門は前年と定員が同じで大きな変化はなく、スクールII部門は年2回実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり募集がなく、1回の開講であったこともあり、対計画と対前年共にマイナスとなり、対前年13,443千円減(8.8%減)の138,690千円となりました。

売上原価は、対前年3,820千円減(6.1%減)の58,775千円でした。

販売費及び一般管理費につきましては売上の減少により、対前年2,014千円減(2.6%減)の75,324千円となりました。

よって、営業利益は、部門合計で対前年7,608千円減(62.3%減)の4,591千円となりました。

また、今期は雑収入として、新型コロナウイルス感染拡大による対策である持続化給付金2,000千円、兵庫県の中企業補助金200千円、雇用調整助成金450千円、豊岡市の財布事業補助金2,078千円、豊岡商業協同組合の利用分量配当金122千円など、計5,421千円ありましたが経常利益は対前年3,413千円減(25.6%減)の9,933千円となりました。

税引前当期純利益は9,966千円、税引後当期純利益は法人税、住民税及び事業税が2,321千円となりましたので、対前年2,330千円減(23.3%減)ではありますが、7,644千円を確保できました。

事業につきましては、アトリエショップ部門ではコロナ禍のため店舗を休業したこともあり、前半は売上も激減しましたが、豊岡市の消費推進事業である「BUY豊岡」の効果により何とか盛り返しはしたものの前年の実績には及ばず、やはりコロナの影響が直面した年でした。

一方でネット販売業務は着実に売上を上げてきており、更に広告等に力を入れ飛躍して行けるものと考えております。

また、スクール事業におきましては、7年目を終え60数名の若者が豊岡を中心に巣立って行きました。コロナ禍では生徒数を半分にし1日おきで対応する等、異例の授業方法ではありましたが、アルチザンスクールでの熱い思いを持って今後も活躍されることを期待しています。

令和2年度よりスクールIIの財布専科講座を開校し、第1期生5名が入校しました。残念ながら第2クールでは、コロナ禍で応募がなく開講することが出来ませんでした。今後も財布作りが豊岡の靴産業の中に根付くことを目指して取り組んで参ります。

学校給食配送事業につきましては、豊岡の子供たちが健やかに成長することを願い、その思いを持ちながら、事故のない配送業務を心掛けて参りました。

当社も会社設立から26年が経ち、また、アルチザン事業を立ち上げて7年が経過しました。ここまで来られたのも、偏に株主の皆様や関係各位のご理解とご協力のお蔭と感謝申し上げます。

今後も更なる業績向上を目指し、役職員一丸となって邁進して参りますので、よろしく願い申し上げます。

事業（営業）報告資料

1. 事業（営業）実績

◇売上高の推移

（単位：千円）

区 分		第23期 (平成29年度)	第24期 (平成30年度)	第25期 (平成31年度)	第26期 (令和2年度)
アルチザン事業		102,749	131,434	138,865	124,368
内訳	アトリエ	76,621	102,616	111,659	107,336
	スクール	26,127	28,818	27,206	17,032
学校給食配送事		11,500	12,175	13,268	14,322
合 計		114,249	143,609	152,133	138,690

◇営業成績の推移

（単位：千円）

区 分	第23期 (平成29年度)	第24期 (平成30年度)	第25期 (平成31年度)	第26期 (令和2年度)
営業利益	7,330	13,518	12,199	4,591
経常利益	9,394	13,950	13,346	9,933
当期純利益	7,224	10,180	9,974	7,644
総資産	110,236	128,776	132,078	137,862
純資産	87,267	97,447	107,422	115,067

2. 会社の概要（現況）

(1) 資本金

資 本 金	91,800千円
-------	----------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,836株
内 豊岡市保有分	918株
内 豊岡商工会議所保有分	414株

(3) 役員の状態

	役職名	役員名
1	代表取締役	足立 哲宏
2	代表取締役	由利 昇三郎
3	取締役	植村 賢仁
4	取締役	谷口 啓志
5	取締役	宮下 榮司
6	取締役	坂本 成彦
7	取締役	卯野 隆也
8	取締役	衣川 克典
9	監査役	浮田 昌彦
10	監査役	塚本 繁樹

(4) 社員（従業員）の状態

区分	人数	構成
社員	8	男 5名、女 3名
パート	14	男 12名、女 2名
合計	22	

貸借対照表

令和 3年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 127,189,846】	【流動負債】	【 22,453,225】
現金・預金	112,758,470	買掛金	7,397,155
売掛金	9,083,148	未払費用	95,146
商品・製品	3,729,019	未払金	2,245,269
材 料	383,446	未払法人税等	700,000
貯 蔵 品	584,538	未払消費税等	2,001,800
仮 払 金	282,615	前 受 金	9,890,000
前 払 費 用	283,290	預 り 金	123,855
前 払 金	172,320	【固定負債】	【 341,163】
貸倒引当金	△87,000	長期未払金	341,163
【固定資産】	【 10,672,189】		
【有形固定資産】	【 10,342,253】	負債合計	22,794,388
建 物	744,900	純資産の部	
建物附属設備	154,781	【株主資本】	【 115,067,647】
構築物	1	[資本金]	[91,800,000]
工具器具備品	9,141,770	[利益剰余金]	[23,267,647]
土 地	300,801	(その他利益剰余金)	(23,267,647)
【無形固定資産】	【 299,936】	繰越利益剰余金	23,267,647
電話加入権	299,936	(うち当期純利益)	(7,644,995)
【投資その他の資産】	【 30,000】		
出 資 金	30,000	純資産合計	115,067,647
資産合計	137,862,035	負債・純資産合計	137,862,035

損 益 計 算 書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
【純 売 上 高】		
アルチザン事業収入	124,368,945	
学校給食配送事業収入	14,322,000	138,690,945
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	5,228,983	
仕 入 高	57,658,845	
合 計	62,887,828	
期 末 棚 卸 高	4,112,465	58,775,363
売 上 総 利 益		79,915,582
【販売費及び一般管理費】		75,324,080
営 業 利 益		4,591,502
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	7,077	
受 取 配 当 金	500	
雑 収 入	5,414,096	5,421,673
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	80,000	80,000
経 常 利 益		9,933,175
【特 別 利 益】		
貸倒引当金戻入益	33,000	33,000
【特 別 損 失】		
他 特 別 損 失	1	1
税引前当期純利益		9,966,174
法人税、住民税及び事業税		2,321,179
当 期 純 利 益		7,644,995

販売費及び一般管理費

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
給 料 手 当	34,741,963	
業 務 委 託 費	4,238,739	
法 定 福 利 費	4,137,682	
福 利 厚 生 費	1,562,778	
広 告 宣 伝 費	5,409,381	
運 賃	1,520,208	
旅 費 交 通 費	83,159	
教 材 費	1,895,877	
商 品 開 発 費	706,288	
車 輛 管 理 費	1,031,022	
通 信 費	267,898	
水 道 光 熱 費	1,309,699	
租 税 公 課	556,100	
消 耗 品 費	1,753,914	
事 務 費	1,094,746	
賃 借 料	558,330	
車 輛 賃 借 料	1,533,006	
減 価 償 却 費	2,111,127	
修 繕 費	103,400	
保 険 料	815,550	
支 払 手 数 料	8,576,301	
負 担 金	188,240	
リ ー ス 料	547,042	
交 際 費	133,307	
会 議 費	18,346	
寄 附 金	2,500	
雑 費	427,477	75,324,080
合 計		75,324,080

部 門 別 損 益

自令和 2年 4月 1日 至令和 3年 3月31日

(単位：円)

	総 合 計	アルチザン・ アトリエ シヨップ部門	アルチザン・ アトリエ ネットシヨップ部門	アルチザン・ スクール①部門	アルチザン・ スクール②部門	学校給食配送 事業部門
I 売上高	138,690,945	61,858,053	45,478,519	14,800,000	2,232,373	14,322,000
II 売上原価	58,775,363	34,517,360	24,258,003	0	0	0
III 売上総利益	79,915,582	27,340,693	21,220,516	14,800,000	2,232,373	14,322,000
IV 販売費及び一般管理費	75,324,080	26,559,991	16,775,211	15,025,881	5,360,976	11,602,021
V 営業利益	4,591,502	780,702	4,445,305	△ 225,881	△ 3,128,603	2,719,979

株主資本等変動計算書

	株主資本				株主資本合計	純資産合計
	資本金	利益剰余金		利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金	利益剰余金			
当期首残高	91,800,000	15,622,652	15,622,652	15,622,652	107,422,652	107,422,652
当期変動額						
当期純利益		7,644,995	7,644,995	7,644,995	7,644,995	7,644,995
当期変動額合計	0	7,644,995	7,644,995	7,644,995	7,644,995	7,644,995
当期末残高	91,800,000	23,267,647	23,267,647	23,267,647	115,067,647	115,067,647

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

(単位：円)

個 別 注 記 表

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

2. 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定額法

無形固定資産・・・定額法

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について
法人税法の規定による法定繰入率により計上しています。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引
については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 11,302,919円

(2) 国庫補助金等で取得した固定資産について、取得価額から次の圧縮記帳額を
控除しております。(第18期、第19期及び第20期)

土地	26,066,398円
建物	71,248,946円
建物附属設備	25,744,945円
その他固定資産	18,245,567円
計	141,305,856円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式 当期末発行済株式数 1,836株